

## 第2回高齢者医療臨床研修会開催報告

研修委員会幹事 潮田高志

第2回高齢者医療臨床研修会が2017年10月1日(日)「メルパルク大阪(大阪市淀川区)」にて開催されました。本年3月に開催した第1回本研修会にご好評をいただいたことにより、同テーマ「高齢者の服用薬からわかること、モニタリングからわかること」を大阪においても実施する運びとなりました。第1回と同様に、九州歯科大学口腔保健・健康長寿推進センター 大渡凡人先生から「薬剤情報から組み立てる高齢者歯科患者のリスクマネジメント」、東京歯科大学歯科麻酔学講座 松浦信幸先生から「今日から使える生体データ 100%活用術」、日本歯科大学生

命歯学部口腔外科学講座 松野智宣先生から「主治医に病状を照会するためのポイント ABC」の3演題をそれぞれご講演いただきました。まさに今臨床で必要とされている知識を押さえた内容であり、当日のプログラムには抄録に加えて聴講者のメモをサポートするHeadlineを加えたことで、講演中は熱心にメモを取る姿が非常に多く見受けられました。また講演終了後のパネルディスカッションでは、聴講者より高齢者の健康を支える臨床現場の声や高齢者の全身管理に関する熱心な姿勢を届けていただき、演者と聴講者が一体となった有意義な研修会となりました。

ました。関西地区はもとより、福岡県からの参加者が大阪府に次いで多くおり、広い地域から関心をお寄せいただいたことは、超高齢社会のなかで歯科医療の前線を担う先生方の意識水準の高さを表すものであると感じました。

第3回は東京、第4回は福岡で「在宅高齢者等に対する歯科治療のリスク管理」をテーマに、概論から各論へとより密度の高い内容になります。詳細は、各研修会の開催報告または開催案内をご参照ください。



研修会での質疑応答の様子